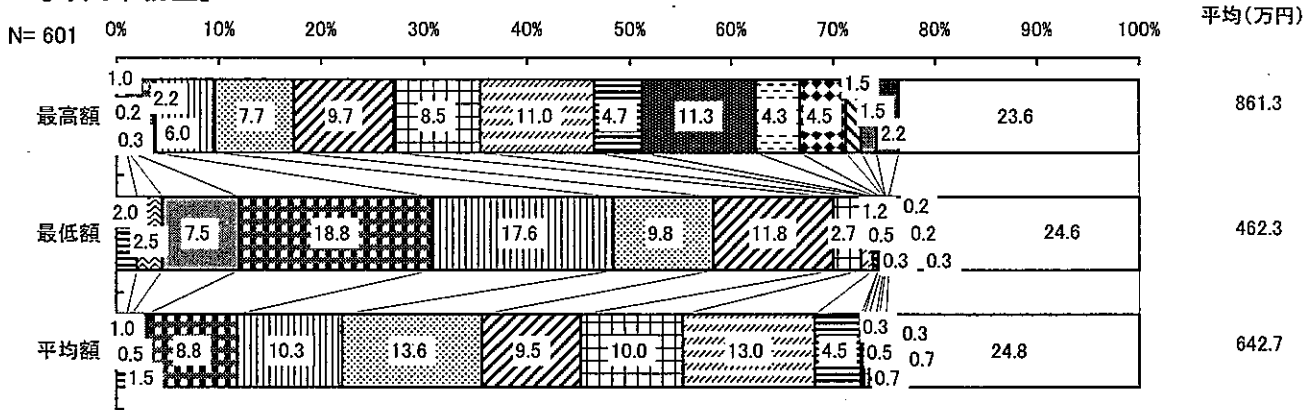


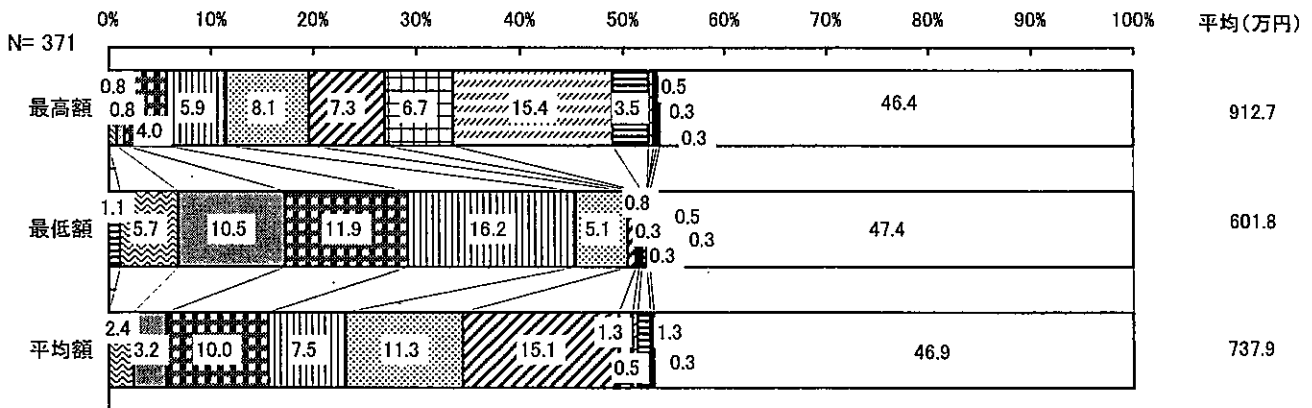
40 平成16年分の年収

■100万円未満	■100万円台	■200万円台	■300万円台	■400万円台	■500万円台
■600万円台	■700万円台	■800万円台	■900万円台	■1000万円台	■1100万円台
■1200万円台	□1300万円台	■1400万円台	■1500万円以上	□無回答	

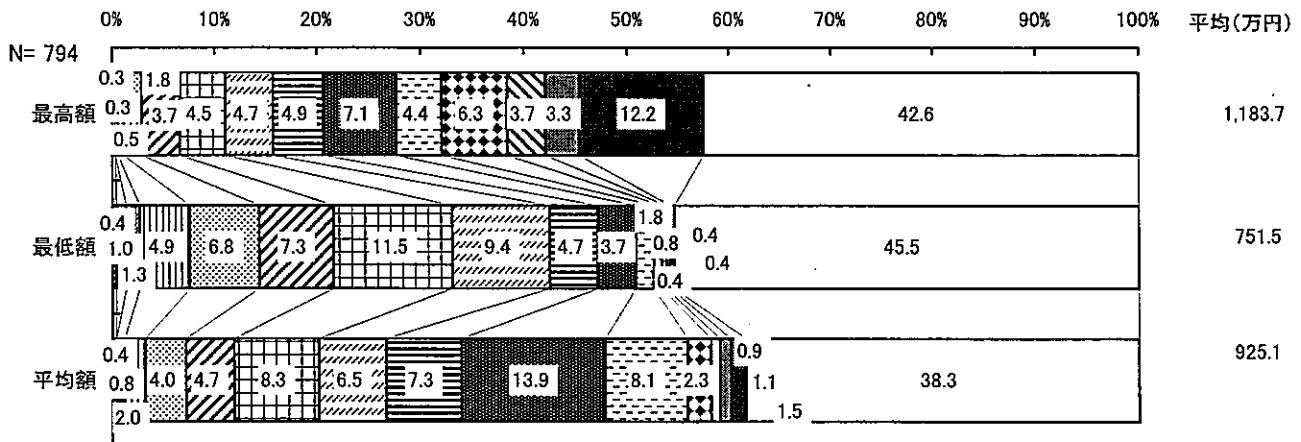
[専門業務型]



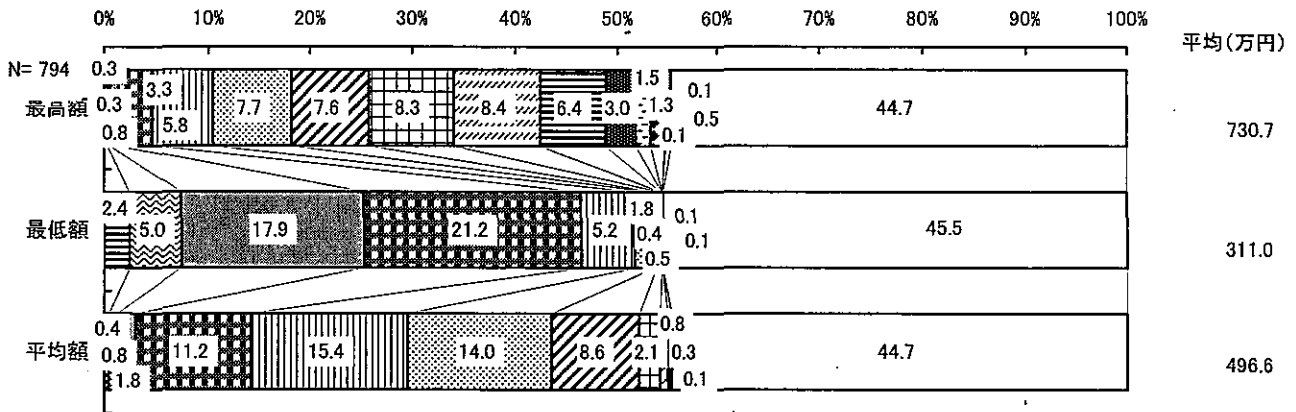
[企画業務型]



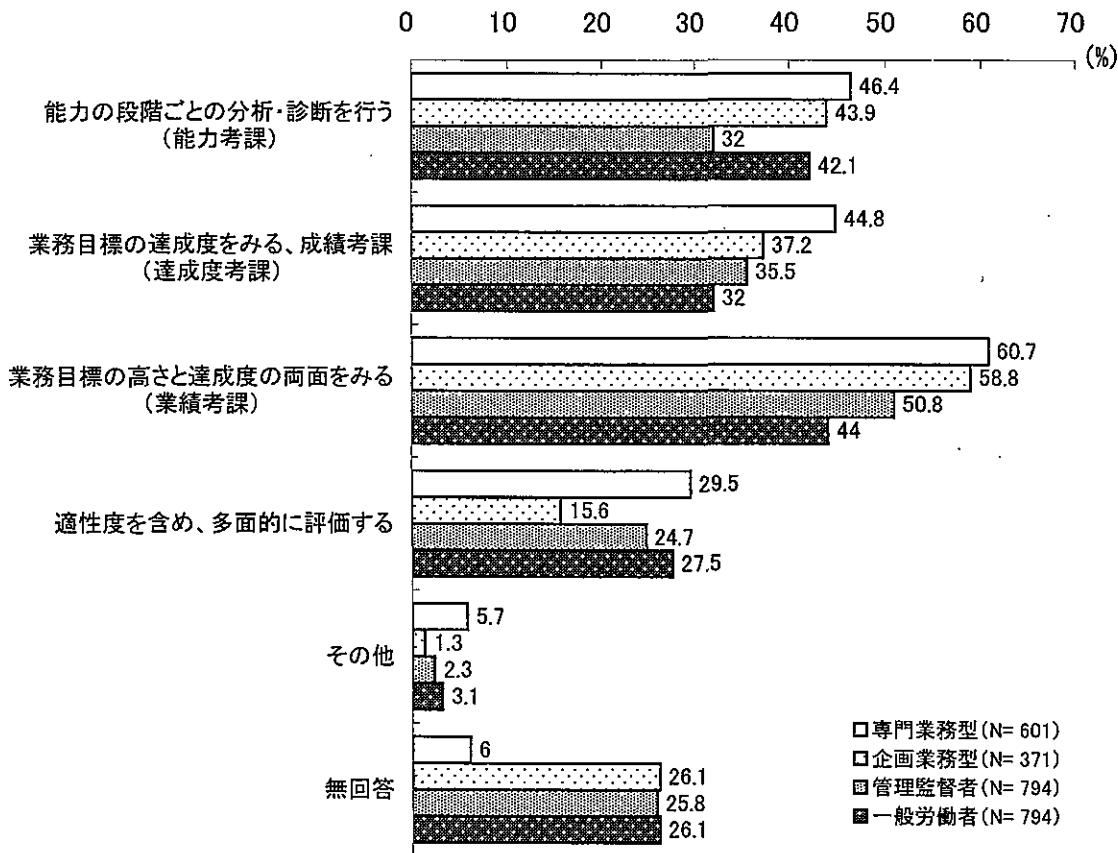
[管理監督者]



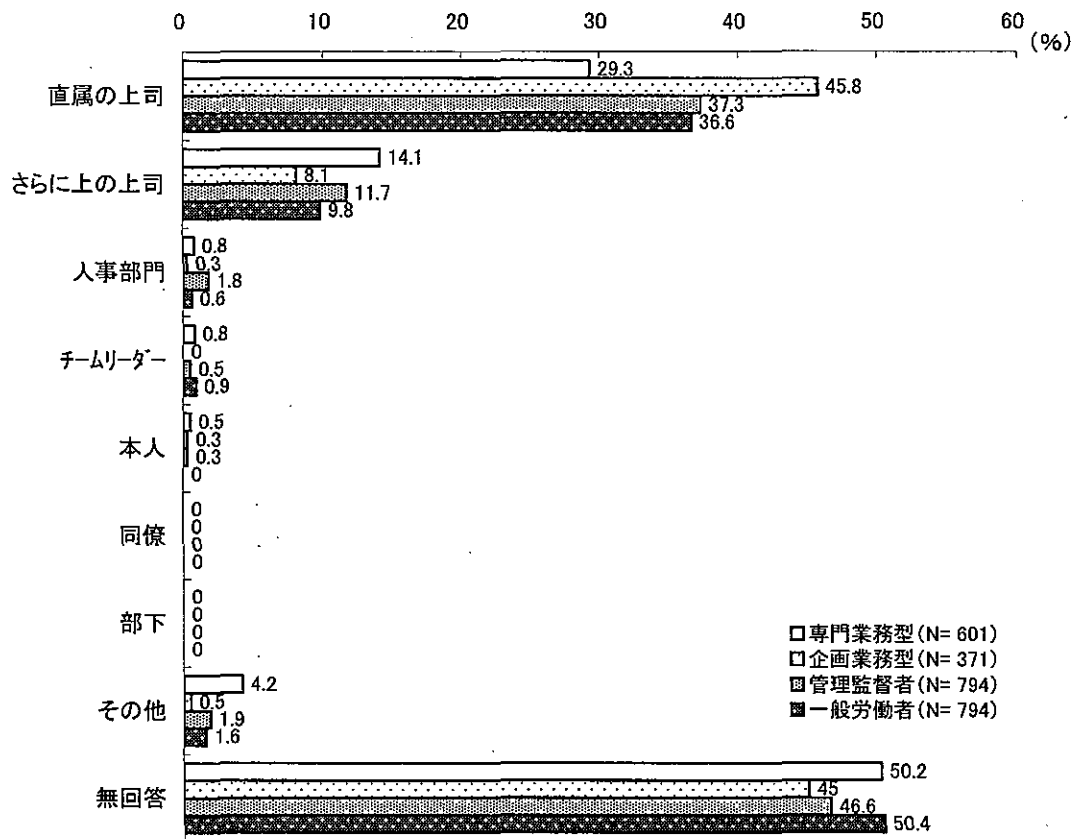
[一般労働者]



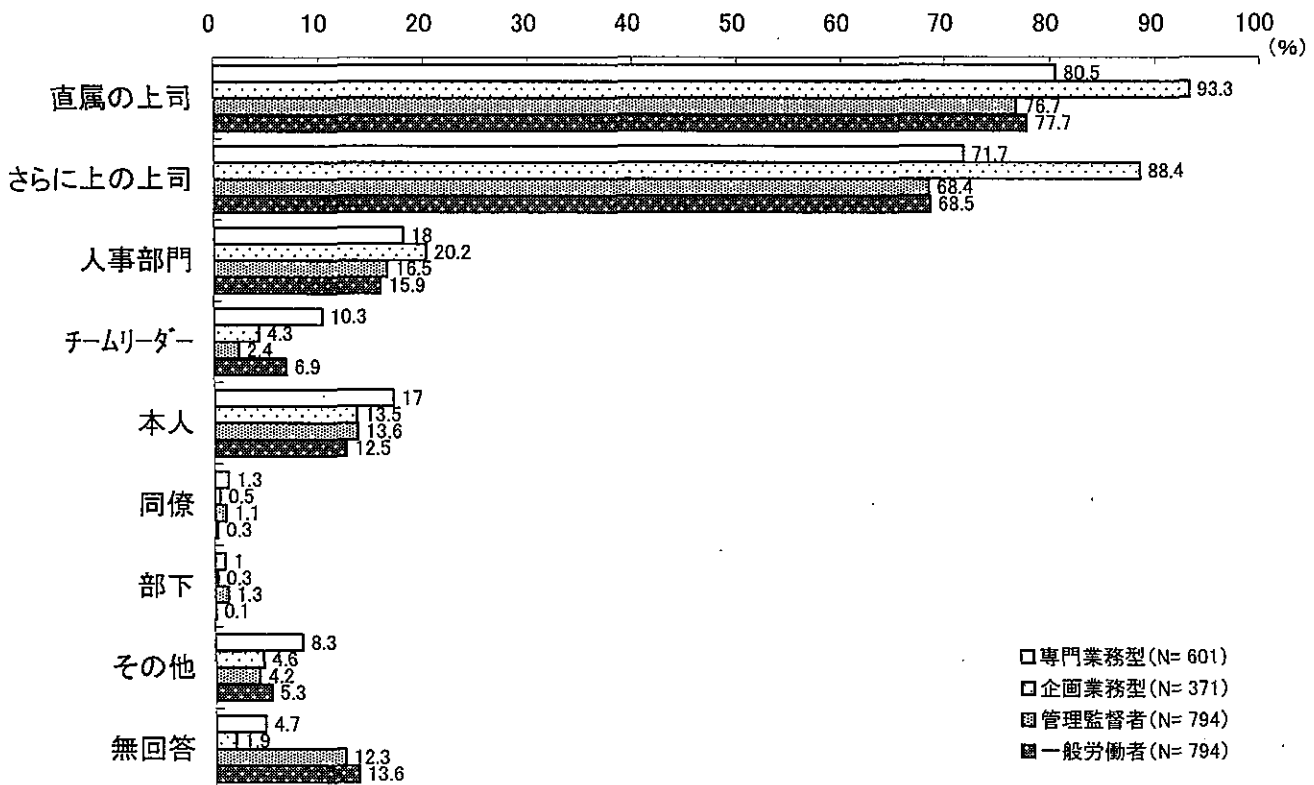
4.1 評価制度 (M.A)



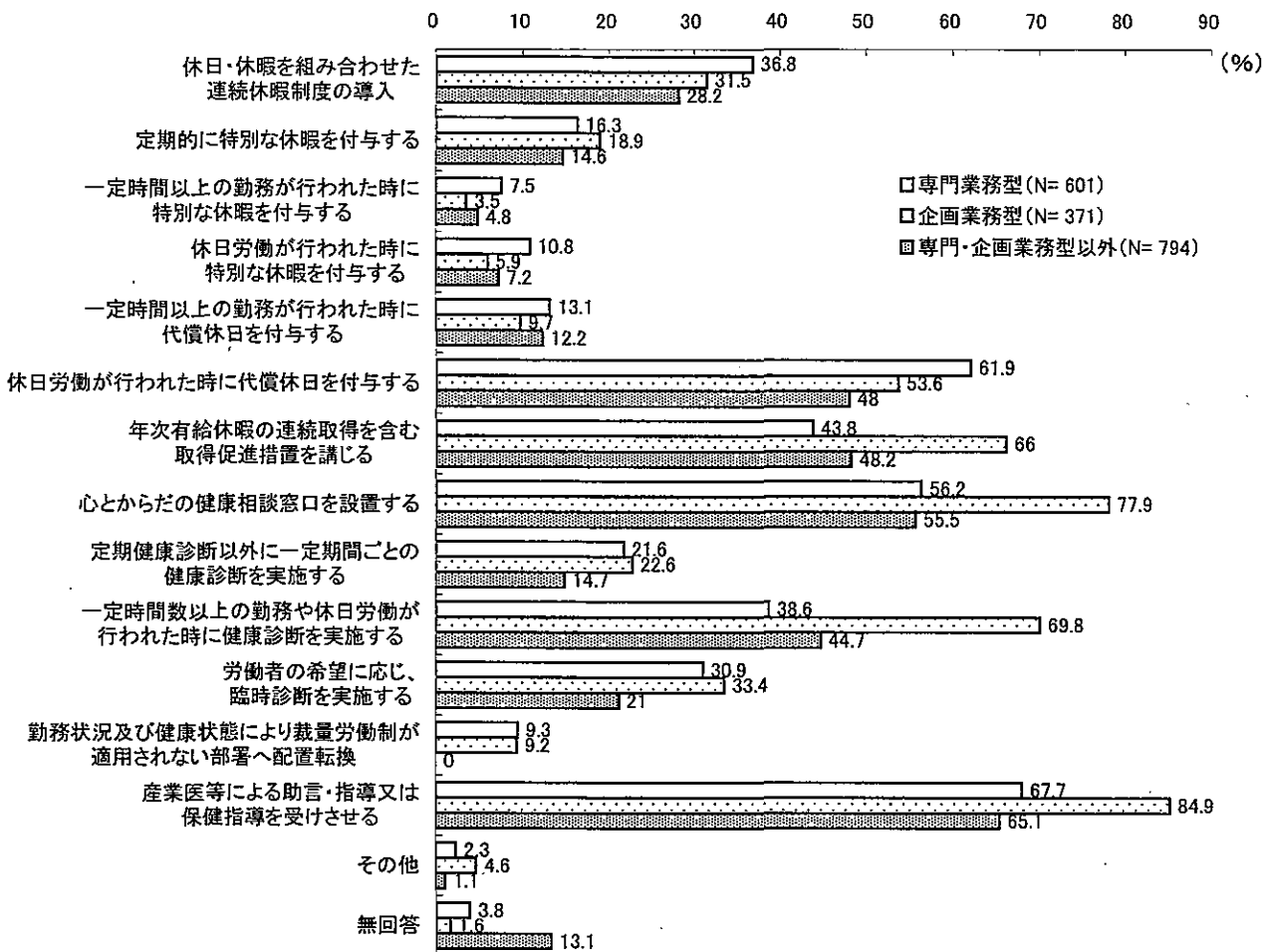
42 誰が評価するか < 最も大きなウエイトを占める評価者 >



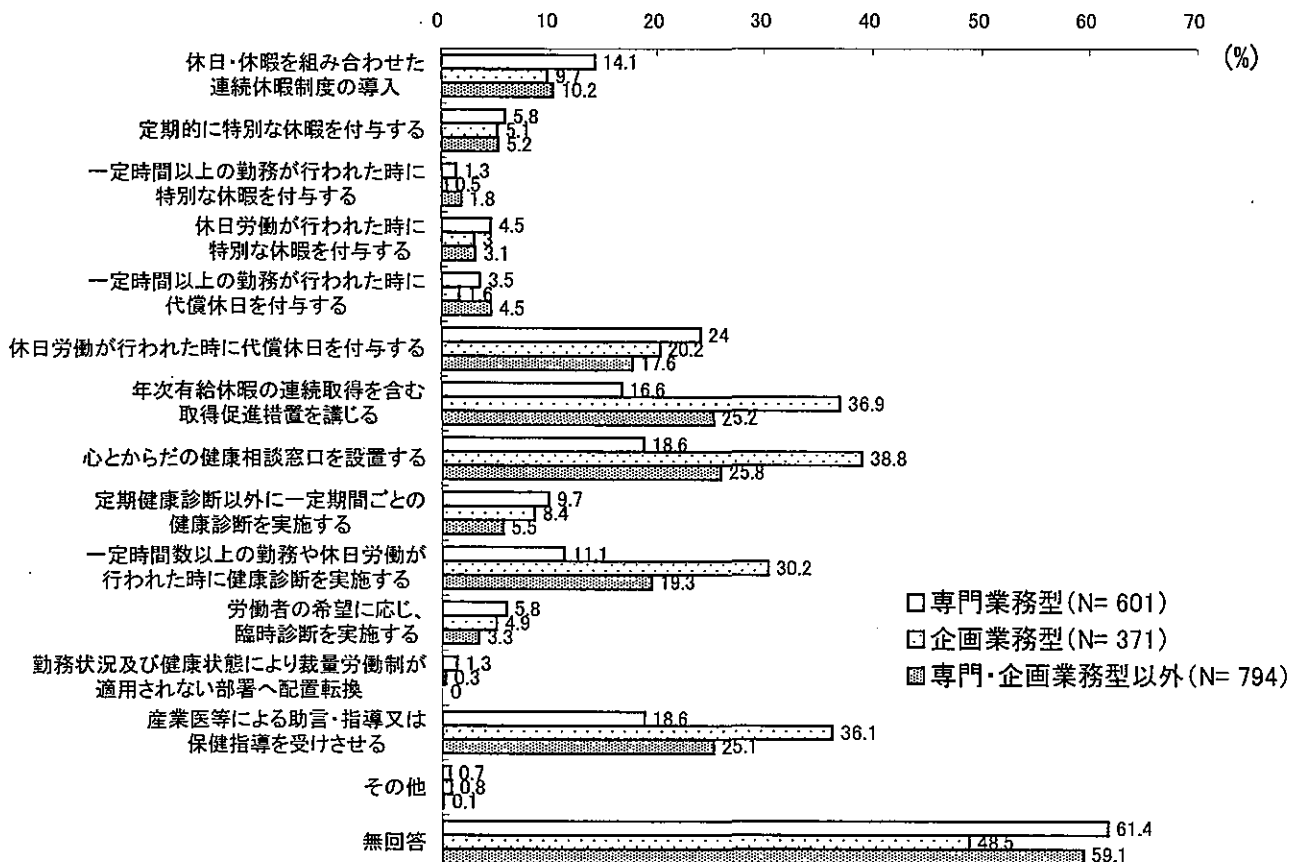
43 誰が評価するか < 評価者 (M.A) >



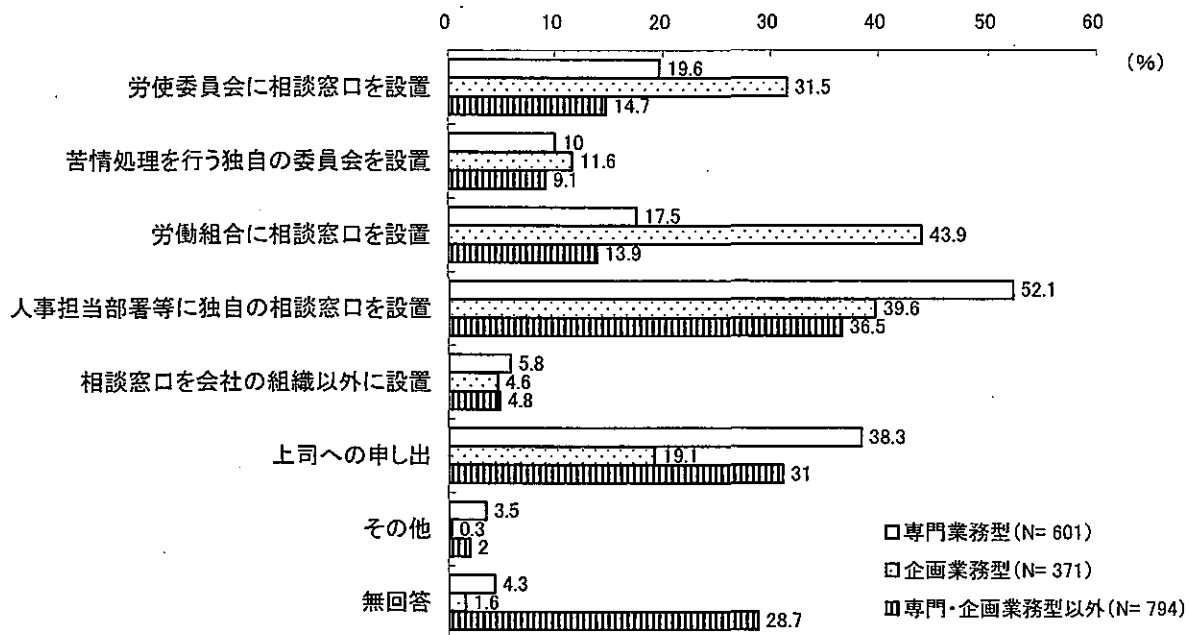
44 健康・福祉確保措置として実施することとなっているもの (M.A)



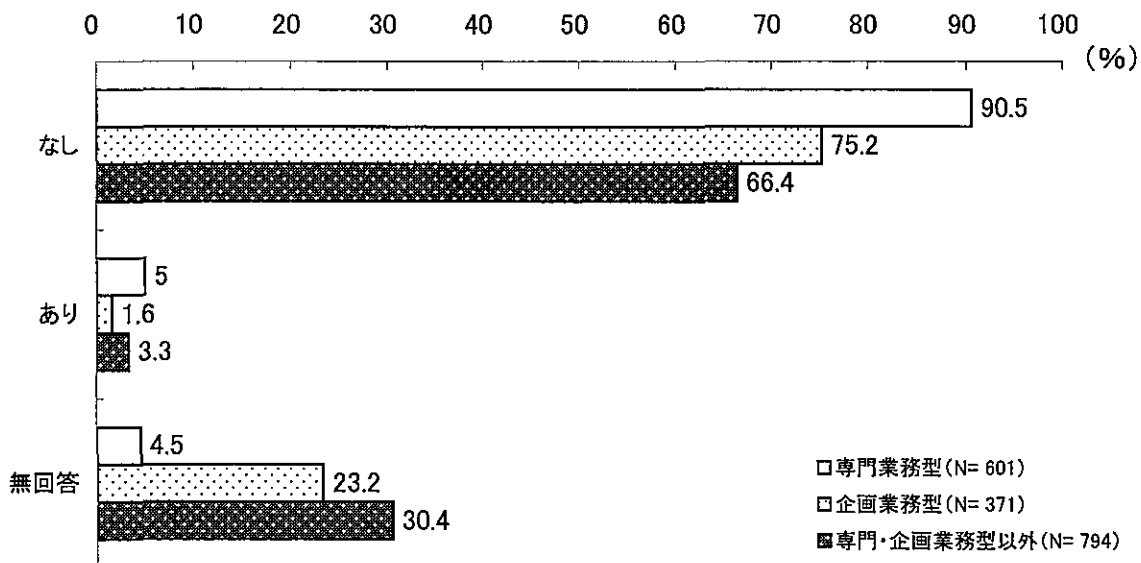
45 健康・福祉確保措置として実際に実施したもの (M.A)



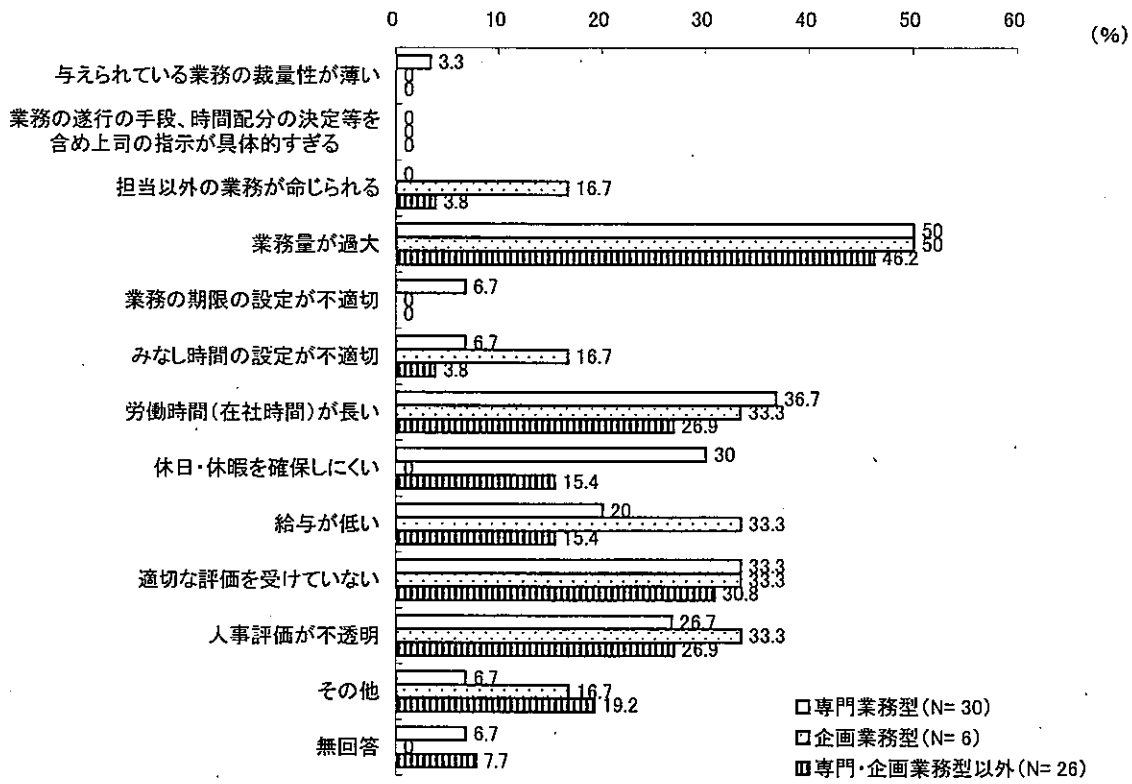
46 苦情処理措置の内容 (M.A)



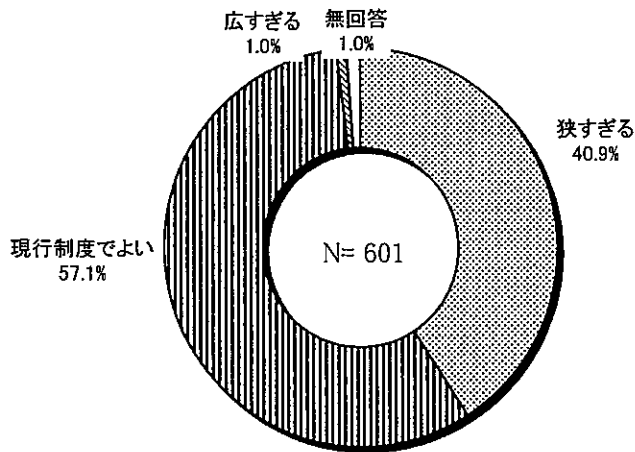
47 苦情の有無



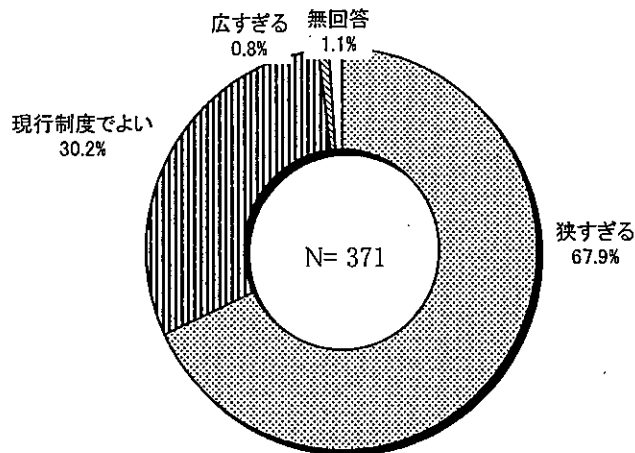
48 苦情の内容 (M.A)



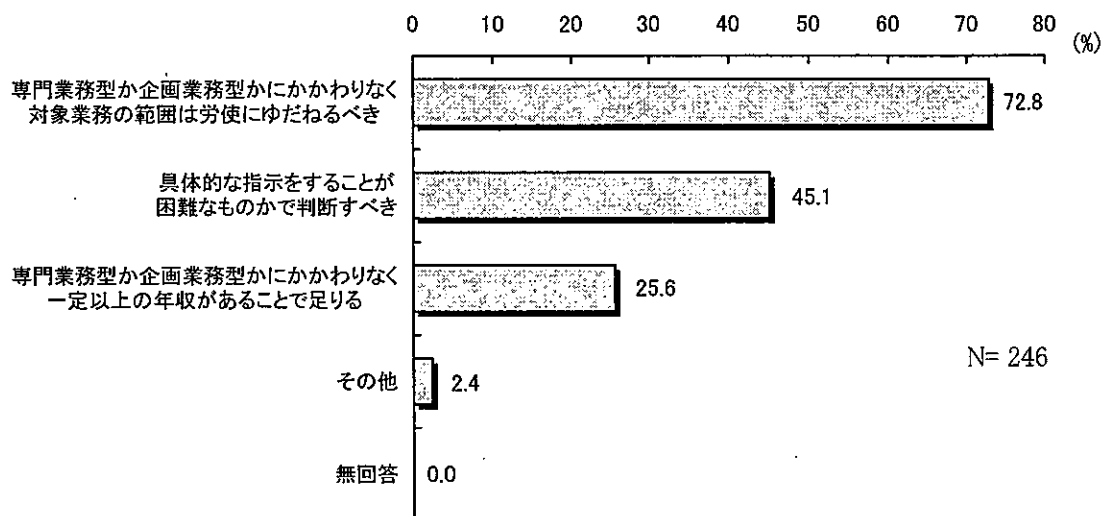
49 対象業務の範囲 [専門業務型]



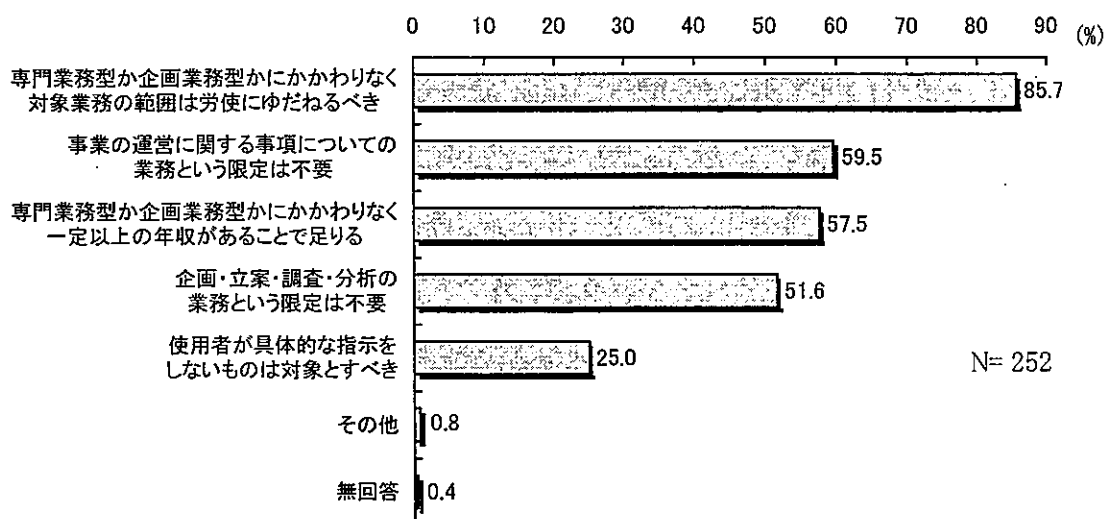
50 対象業務の範囲 [企画業務型]



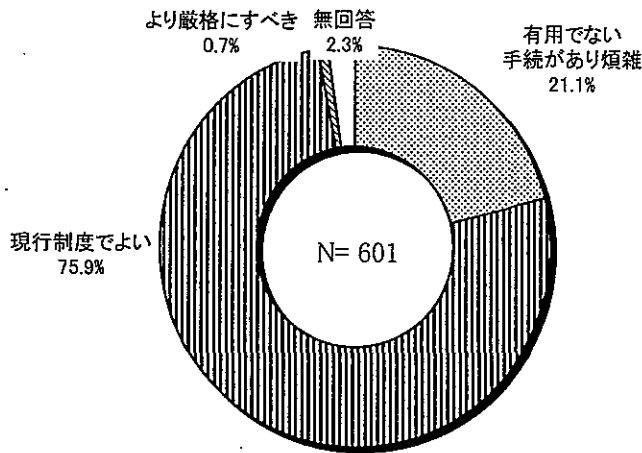
51 対象業務の範囲が狭すぎると考えられる場合、具体的にどうすべきか (M.A) [専門業務型]



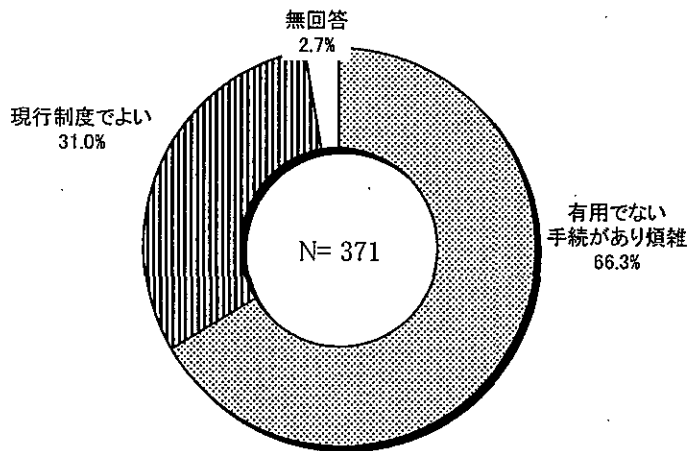
52 対象業務の範囲が狭すぎると考えられる場合、具体的にどうすべきか (M.A) [企画業務型]



53 現在の裁量労働制の手続をどう考えるか [専門業務型]



54 現在の裁量労働制の手続をどう考えるか [企画業務型]



55 具体的にどの手続が不要ないし煩雑か (M.A) [専門業務型] (53で「有用でない手続があり煩雑」の場合)

